

ワールドワイド携帯電話四半期動向

2018年5月17日報告

■ 2018年1Qの世界のSmartphone市場概況 ■

2018年1Qの端末販売状況

1-3月期の端末販売台数は季節性から前期比12%減になったが、前年同期の前期比18%減に比べれば緩やかな減少幅になった。Smartphoneは前期比14%減になったが、フィーチャーフォンは5%減と一桁台に留まり、全端末販売台数の下落に歯止めを掛けた。

1Qのフィーチャーフォンはインドで急拡大、Jio PhoneやHMDの3310 4Gなど4G対応モデルがローエンド市場をリードした。2機種ともローエンド端末向けに開発したKaiOSを搭載、Smartphoneに似た機能性を有している。インドでは1Qで2Gユーザが大量に4Gモデルにシフトした。

1Qの注目SmartphoneモデルはSamsungのGalaxy S9シリーズで、前倒し発売が功を奏し同社の1Q業績を大きく引き上げた。一方中国メーカーは4Qに新モデルを大量にリリースした反動から新モデルの投入数は少なく、1Qは4Q出荷の在庫消化と新モデルの発売準備に専念、Huawei、Xiaomiを除いて低調な四半期になった。

2018年2Qの市場見通し

4-6月期は前期比微増を予想した。中国メーカーのリリースモデル数が増え、新モデルの投入により出荷増に貢献するものとみられる。ミッドエンド以上ではAI機能をもつMediatek Helio P60の採用が増え、OPPOはR15、Realme 1、F7、A3、VivoはX21i、HMD GlobalはX6に搭載している。MediatekはP60の販売により3月、4月とも売上は増加基調を辿り、同社は2Q売上について前期比20%の増加を見込んでいる。

4-6月期で前期に対し販売増が見込まれる有力メーカーはHuawei、Xiaomi、OPPO、HMD Global、LG各社とみられ、Samsung、Appleは前期割れの公算が高い。

2018年1Q(1-3月)調査結果 目次

1	2018年1Q(2018年1-3月)の端末販売の概況	4	7	中国メーカーの2018年1Q動向	27
2	4-6月の出荷、販売見通し	6	7.1.	Huawei	27
3	2018年1Qの端末販売動向	7	7.2.	Xiaomi	28
4	2018年1Qのメーカーの動向	8	7.3.	OPPO	29
4.1.	グローバルメーカー / Samsung、Apple、HMDが好調を維持	8	7.4.	Vivo	30
4.2.	中国メーカー / 中国中堅メーカーは淘汰の時代へ	9	7.5.	Lenovo	31
4.3.	中国 1Qは5社の市場寡占化が加速	10	7.6.	その他中国メーカー / ZTE、Meizu、Gionee、LeEco	32
4.4.	インド フィーチャーフォン市場が急拡大	11	7.7.	Mediatekの販売は低迷	34
5	端末販売台数推移(データ編)	12	8	端末各社の出荷計画	35
5.1.	四半期別全端末の販売台数推移	12	9	2018年1Qのセルラー加入状況	36
5.2.	全端末の年間販売台数推移	13	10	地域別累積加入推移(四半期別)	36
5.3.	四半期別Smart Phoneの販売台数推移	14	11	方式別加入推移(四半期別)	39
5.4.	Smart Phoneの年間販売台数推移	15	12	年間加入推移予測	42
5.5.	四半期別フィーチャーフォンの販売台数推移	16	12.1.	地域別	42
5.6.	フィーチャーフォンの年間販売台数推移	17	12.2.	方式別	42
6	グローバルメーカーの2018年1Q動向	18	13	主要オペレータ加入者推移	43
6.1.	Samsung	18	13.1.	アジア	43
6.2.	Apple	20	13.2.	西欧	44
6.3.	LG	22	13.3.	東欧	45
6.4.	ソニーモバイル	24	13.4.	北米	46
6.5.	HMD Global	25	13.5.	中南米	47
6.6.	その他のグローバルメーカー	26	13.6.	中東/アフリカ(アフリカ)	48
			13.7.	主要オペレータの推定比率	49